

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	認可外保育所支援事業					担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	子育て支援課			
	事業期間	平成17年度		～	平成26年度		担当係	保育係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援		2 多様な保育サービスを提供する				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	3	目	2	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	実施・運営 方法	市が直接実施・運営			地域住民組織			<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
		指定管理・外郭団体			名称:						
		<input type="radio"/>	NPO・その他			名称: こぐま・たんぽぽ共同保育所他4施設					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	保育に欠ける児童をもつ保護者が等しく保育サービスが受けられるようにする。										
内容 (手段)	<p>【共同保育所への保育委託助成】(H7開始) 【認可外保育所措置委託料】(H22共同保育所以外へも委託実施) 共同保育所を含む認可外保育所へ0, 1, 2歳児の待機児童の保育を委託するもの。 共同保育所のみ運営費、職員研修費、施設整備費助成(2年に1回)を助成する。 認可外保育所については、愛知県から認可外保育施設指導基準を満たす旨の証明書の交付を受けた市内の施設の設置者、その他市長が特に必要と認めた施設の設置者へ保育を委託。0歳児は28,000円・1～2歳児は25,000円を施設に支払う。</p> <p>【事業所内保育施設設置費助成】(H21開始) 仕事と家庭の両立支援推進のため、事業所内保育施設を設置した場合にその経費に対し助成するもの。</p>										
受益者負担	無	内容									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,153	8,020	7,814	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.00	0.00
			人件費	千円	536	0	0
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計	千円	3,689	8,020	7,814	
	対前年比	%		217.4			
財源	一般財源	千円	3,689	8,020	7,814		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		共同保育所等助成件数	目標			1	3	7
			実績			1	5	
		事業所内保育施設助成件数	目標			1	1	1
			実績			1	0	
			目標					
	実績							
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		保育委託児童数	目標			144	244	300
			実績			84	278	
		目標						
		実績						

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	認可外保育所への委託先が増えたことに伴い、委託児童数も増加した。				
	事業を廃止・休止したときの影響	待機児童がいる現状で、認可保育施設の施設改修費をし、それに伴い職員数増が見込めない状態、また今後の少子化を総合的に考えると、最小限の経費で民間の力を借りて待機児童を分散している。事業を廃止した場合は、市として待機児童対策で保育園の新設も検討し受入枠を確保しなければならない。				
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	上記廃止・休止の影響を判断材料とすると、新設園を建設すると莫大な経費が発生する。また、現在保育制度について、国でも変革を検討していることを考慮すると、この助成を継続・拡大することが最低の経費で最大の効果が得られると考える。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	保育料の助成事業については、待機児童として認めた児童を対象としており、待機児童問題が解消されるまでは事業は継続していく。事業所内保育施設助成についても、市内の事業所内にて職員の福利厚生や働きやすい環境づくりに後押しする体制は堅持していく。				

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	一次評価のとおり				